

千葉教育

菊

平成30年度
No.652

10・11月

特集

「千葉県オリンピック・パラリンピックを 活用した教育の取組方針」から考える

○シリーズ 現代の教育事情

筑波大学体育系教授 真田 久
スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課
県教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室
館山市教育委員会教育部スポーツ課東京オリパラ・キャンプ誘致室
主幹 宮澤 知幸

○提言

ゴールボール男子日本代表主将 信澤 用秀



千葉県総合教育センター

◆学校自慢

子供・保護者・地域をつなぐ

浦安市立入船南幼稚園長

高橋 芳子

◆提言

選手の立場から考えるパラリンピック教育の推進

ゴールボール男子日本代表主将

信澤 用秀 …2

シリーズ！ 現代の教育事情 「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」から考える

■オリンピック・パラリンピック教育の展開

筑波大学体育系教授

真田 久 …4

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたスポーツ庁の取組について

スポーツ庁

オリンピック・パラリンピック課 …6

■千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した取組方針について

県教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室

…8

■2020年に向けた館山市の挑戦

館山市教育委員会教育部スポーツ課東京オリパラ・キャンプ誘致室主幹

宮澤 知幸 …10

私の教師道

■学校を創る 地域と共に歩む学校創りを目指して

市原市立三和中学校校長

北森 功 …12

■学校を支える 義務教育学校「大栄みらい学園（仮称）」開校に向けて

成田市立大栄中学校教頭

三村 洋一 …14

■学校を動かす 主幹教諭として

茂原市立富士見中学校主幹教諭

佐藤 千秋 …16

■子供を知る 初任者研修を終えて

習志野市立第二中学校教諭

辰野 翼 …17

■子供を知る 「これから」を考えて

県立松戸特別支援学校教諭

戸田 尚太 …17

■授業を創る 未来を生き抜く資質・能力をつけるために

県立上総高等学校主幹教諭

糸川 靖英 …18

活・研究 長期研修生からの報告

■小学校編 こども園、幼稚園、保育園の幼児期の学びを生かした小学校での指導の在り方

～生活科「いきものとなかよし」の授業を通して～

印西市立高花小学校教諭

佐藤 祐子 …20

■中学校編 「書くこと」における指導と評価の一体化を目指したCAN-DOリスト活用モデルの構築

四街道市教育委員会指導課指導主事

石毛 宏尚 …23

■教育臨床編 よりよい学校教育相談を目指した指標づくり

香取市立佐原小学校教諭

鹿野 公敬 …26

情報アラカルト

■著作権法一部改正最新情報

県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当

…29

■小学校におけるプログラミング教育モデルプランの公開と講師派遣等のお知らせ

県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当

…30

■千葉県関係情報データベース「菜の花ライブラリー」のご案内

県立中央図書館 …32

■平成30年度企画展「中山忠彦ー永遠の美を求めてー」

県立美術館学芸課 …33

学校 NOW！

■先進校の取組 千葉県におけるオリンピック・パラリンピック教育推進校の取組の紹介 県教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室 …34

■学校歳時記 学級経営は充実しているか

教育創造研究センター所長

高階 玲治 …36

◆発信！特別支援教育 「特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践紹介」

県総合教育センター特別支援教育部 …38

◆千葉歴史の散歩道

本佐倉城～戦国の歴史を刻む千葉氏最後の居城～

文化財課埋蔵文化財班文化財主事

館 祐樹

道 標

2020年8月、東京でオリンピック・パラリンピックが開催される。これに向けて、オリンピック・パラリンピック教育への関心が高まっている。

本県においても、一宮町で開催されるサーフィン競技、千葉市の幕張メッセで行われるシッティングバレーボール競技をはじめ、8競技の開催の準備が進んでいる。そこでスポーツ庁から出ている「オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて（最終報告）」等を踏まえ、本県では「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」を平成29年4月に策定し、目指す児童生徒を育てるため4つのプロジェクトに整理した。① ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる「おもてなしプロジェクト」② 共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる「心のバリアフリープロジェクト」③ 生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる「スポー

プロジェクト」④ 自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる「グローバルプロジェクト」である。それらを通して、志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育成し、児童生徒に無形の遺産（レガシー）として受け継がせることを目指している。そのためには、美化活動や車イス体験、スポーツに関する仕事を理解するキャリア教育、語学力の向上など、児童生徒に何を学ばせたいのかを念頭に置き、各学校の実態に合わせた取組を推進していく必要がある。「スポーツは世界と未来を変える力がある」と言われているが、今こそそれを明らかにするチャンスではないだろうか。

本号がオリンピック・パラリンピック教育を通して、どのように子供たちを育てていけばよいか、考える一助となれば幸いである。

次号予告

『千葉教育』 梅 (No.653)

◆特集 考え、議論する「特別の教科 道徳」
～その実践と評価～

○シリーズ！現代の教育事情

上越教育大学上廣道徳教育アカデミー特任教授 小宮 健
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也
県教育庁教育振興部学習指導課
市原市教育委員会学校教育部指導課

○提言 特定非営利活動法人ダイバーシティ工房 八神 愛衣

平成30年度 シリーズ！現代の教育事情

蓮 650号	「社会に開かれた教育課程」をどう実現するべきか ～カリキュラム・マネジメントの視点から～
萩 651号	新学習指導要領と教育の情報化 ～情報活用能力の育成に向けた児童生徒のICT活用～
菊 652号	「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針」から考える
梅 653号	考え、議論する「特別の教科 道徳」 ～その実践と評価～
菜 654号	千葉の子どもの学力向上に向けて ～全国学力・学習状況調査を活用して～
桜 655号	教員の働き方改革

「千葉教育」は千葉県総合教育センターの
Webサイトから閲覧・ダウンロードできます。

千葉県総合教育センター
公式 Twitter @Chiba_Sose



表紙写真について
流山市立小山小学校
「オリンピック・パラリンピック教育（おもてなしプロジェクト）
流山ロードレースボランティア参加の様子」